

2017年4月16日

「中華ミツバチの故郷」称号が神農架に

昨日、神農架宋洛郷が“中華ミツバチの故郷”の称号を授けられた。これは神農架での国家クラス中華ミツバチ保護区の設立承認に次ぐ、もう1つの特別の栄光となる。

神農架中華ミツバチは中華ミツバチ華中生態系に属し、中国の固有種である。神農架観光地は湖北省で唯一の外来の外来種を養蜂していないエリアでもある。去年、同区域の中華ミツバチ個体群が4万群れに達し、蜂蜜の生産量が300トンに達し、生産高は4200万元を超えた。その中、宋洛郷は多様性の気候と植生で、特に山に囲まれたところは天然の蜜源があるため、中華ミツバチの養殖規模が年々大きくなり、1万以上のミツバチを飼っているため、去年の生産高が525万元に達した。

現在、神農架区域で100群以上持っているミツバチ養殖農家は41個、30群れ以上の農家が400以上ある

2017年4月19日

湖北省初の「外国人勤務許可証」発行

昨日、武漢万達徳貢演芸有限公司副総経理のオーストラリア国籍のジョーペ二氏は、省外国専門局局長の呉建民氏から「中華人民共和国外国人勤務許可書」を受け取った。

これは今年4月1日に外国人在中勤務許可制度が実施されて以来、湖北省が発行した最初の許可書であり、湖北省の外国人在中勤務許可業務が新しい段階に入ったことを表している。

許可制度が実施された後、「外国人専門職在中国勤務許可」及び「外国人入国就職許可」が合わせて1枚の証明書に変更され、コードは1人1つのみが割りあてられ、生涯変わらない。

「手続きはとても簡単になり、1つの部署で完了できるようになった。」とジョーペ二氏は言った。彼女は2011年8月にオーストラリアから上海へ勤務に来て、「外国人エキスパート証明書」を取得し、毎年延長申請する必要がある。今回在中勤務許可を申請した時、最新の規定によって彼女が外国高レベル人材(A類)標準に適合していたため、雇用契約期間内に延期申請は必要なくなった。

